

西条

SEPTEMBER
2008

No.378

9



336A地区
2R-4Z

Saijo Lions Club



2008~2009年度▶

国際会長プログラム

-We Serve- われわれは奉仕する キーワード：奉仕で奇跡を (Miracles Through Service)

336A地区ガバナースローガン

叡智と勇氣・誇りをもってウィサーブ キーワード：和の心

クラブ会長スローガン

未来のために WE SERVE キーワード：健康な心

少々ご挨拶が遅れましたが本年度、青少年指導委員会の委員長を務めさせていただく野間です。委員会の皆様、ライオンズクラブの会員の皆様、一年間よろしくお願ひいたします。



本年度は、当委員会が例年、実施しております平和記念ポスター、西条 LC 少年野球大会というアクティビティーの他、ふれあい市民講座を実施したいと思っております。まだまだライオン歴 5 年目、右も左もわからない若造ですので気が付かないこと、失敗することも多くあると思ひますが委員会の大先輩方にご指導を仰ぎながら、精一杯頑張りますのでよろしくお願ひいたします。

会議報告記

【 第 1 1 回献血推進研究会に参加して 】

環境保全・保健福祉委員長 伊藤 稔



平成 2 0 年 8 月 3 日 日曜日 四国中央市 ホテルグランフォ - レにて行なわれました第 1 1 回 2 R 献血推進研究会の内容をご報告申し上げます。私にとっては、愛媛県赤十字血液センター - 松坂所長のスライドを使った丁寧な説明を聞いて、初めて現実の課題を認識いたしました。

午前中に血液事業の現状とライオンズクラブの活動について説明があり、その中で、愛媛県内の献血数の推移は、平成 1 9 年より毎年激減しており、特に若年献血者は、深刻な問題になっています。2 0 歳から 2 9 歳の献血者は、生活習慣病など日頃の食生活そのものの見直し、現実問題となっています。平成 1 8 年の県内献血申込者数は、6 5 , 4 9 2 人ありましたが、不適格者が、1 0 , 6 5 6 人もあり、全国で見ると、6 0 8 万人に対して、1 1 0 万人の不適格者がいました。

献血者数減少の原因は、人口構成のアンバランス（若年者の減少、高齢者の増加、企業労働者の減少）、若年者の献血意識の衰退（ライフスタイルの変化）、400m L 特化による対象者の減少（年齢 1 8 歳以上、体重 50kg 以上、ヘモグロビン 1 2 . 5 g / d l 以上、採血間隔の延長）、採血不適格者の増加（特に女性の貧血）、生活習慣病・慢性疾患の増加（服薬者の増加）によるものです。

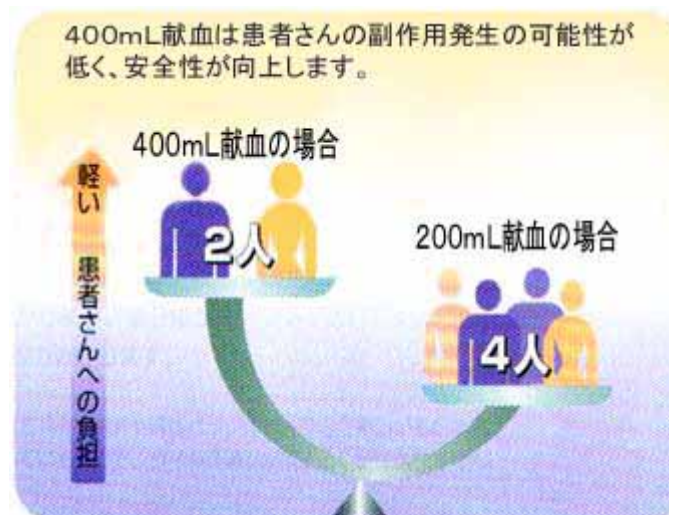
特に若い女性の鉄欠乏性貧血が多く、献血不適格者数増加の原因にもなっています。最後に、献眼推進について、財団法人 愛媛アイバンク岡本理事長から説明と切実なお願ひがありました。平成 2 0 年献眼者数 1 8 3 人 3 5 0 眼ありますが、県内で 5 0 人待っており、平成 1 9 年は、6 眼しか提供されず、不足分は、アメリカのアイバンクから調達しなければならない現実がありました。

【 愛媛県の角膜は、愛媛県で集めよう 】 皆様のご協力をお願い申し上げます。

成分献血、400mL 献血について

人間一人ひとりの血液は、たとえ血液型が同じでも微妙に違います。このため複数の献血者からの血液をあわせて一人の患者さんに輸血するほど、副作用（発熱、発疹など）発生の可能性が高くなります。成分献血、400mL 献血は 200mL 献血に比べて献血量が多いことから、少ない献血者からの輸血を可能にし、安全性を向上させる献血方法と言えます。日本赤十字社としては、献血をお申し込みいただいた方のご意思を優先し、献血によって体調を崩すことのないよう、健康状態について慎重に確認した上で成分献血、400mL 献血のご協力をお願いしています。

800mL の輸血に必要な献血者数



観月例会

(第1126回 9月第2例会)

執筆：委員会対抗歌合戦優勝委員会「環境保全・保健福祉委員会」委員長 伊藤 稔

今年で2回目の観月例会に参加させていただきました。「委員長が歌って下さい」と委員会の皆さんよりありがたいご指名をいただきまして、「当日は、楽しくやろう!」と心から決めていました。ウォーキングの指導をいただいた盛實先生の足の長さには驚きながらも、気持ちよいウォーキングができたことは、大きな収穫でした。何回も歩いているうちに、だんだんと先生の歩幅についていけなくなり、スキップをしてしまうほどでした。しかし、健康的な運動ができて、良かったと思います。

いよいよ待ちに待った【委員会対抗カラオケ大会】の始まりです。このときとばかりに団結して委員会の底力を発揮しようと思い、変装願望の強い私は、かつらなど買いに先走りましたが、皆さんが気に入ってくださり安心しました。

くじ運もよく最後のトリということで、パンパンクラッカ - も鳴らしていただいて、盛り上がりました。くじ運と審査委員の皆さんのおかげもありまして、優勝させていただきました。ありがとうございます。今回の観月例会は、昨年にないフレッシュさや若さ、盛り上がり、西条ライオンズクラブの【団結】と言う点においては、「健康」をキーワードにしている内容も含めて、大変良かったと思います。来年の観月例会も楽しみにしています。



今期初！例会出席100%達成です



素敵な盛實インストラクターでした
ストレッチだけでも結構きつかったです



続いて、ウォーキング指導・・・



「メタボ対策」になるでしょうか・・・



気分は湘南！つつい張り切ってしまう
《委員会対抗戦》



委員会対抗歌合戦の 位には、
特製青汁で健康をプレゼント！

「オーストラリアでの生活を終えて」

西条 LC 336A-24 加藤水奈美

私は8月3日から29日までオーストラリアに行かせていただきました。私のホームステイ先はビクトリア州のハミルトンという人口一万人のところでした。ホストファミリーのスターンさんとヘレンさん、そして、九州から来た YE 生の女の子と四人の生活が始まりました。英語に全く自信がなく不安でしたが、言葉が通じなくても同じ人間、国が違っていても何とかやっていけるなと思いました。

ホストファミリーや現地ライオンズの方が山や海、牧場などいろいろなところに連れて行ってくださいました。向こうは冬で、毎日気温が0度に近かったので、とても寒かったです。そんな中での雨降りの海は、涙が出るくらい辛かったです。それもいい思い出です。

ファミリーのご厚意で、ドイツから来た YE 生と会わせていただき、そしてグロックにいる妹に、滞在中二度も会うことができました。小学校や幼稚園にも行きました。子供たちと一緒に折り紙を折ったり、遊んだり、とても楽しい時間を過ごしました。

家にいるときは、ヘレンさんとお料理を作ったり、クッキーを焼いたり、暇なときは、マフラーを編んだりしていました。

期待に胸を膨らませ、挑戦した海外生活は、想像を上回り素晴らしく、内容の濃いものでした。オーストラリアでたくさんの人に出会い、人の温かさやありがたさを感じました。そして、ホストファミリーと日常生活を共にすることで、お互いの生活習慣や文化の違いを知ることができ、自分自身を見つめ直す事ができました。もちろん大変な事もりましたが、今となっては全てが大切な宝物です。今回、私にこのような貴重な体験をさせて頂いた事を感謝しています。ライオンズクラブの皆様、YE・国際協調委員会の皆様、本当に有難うございました。



JAPANESE students Hitomi Terachi and Misumi Kato are a part of a cultural exchange for 2008. **Pair learn Aussie way of life**
 THE Hamilton Lions Club is holding a cultural exchange program for a handful of Japanese students for three weeks. University students Hitomi Terachi, 21, and Misumi Kato, 21, are taking the step of a lifetime to the Southern Ocean region, to experience every aspect of the distant. "My fear disappeared as soon as I met my host family at the airport," she said. Mi Terachi said she enjoyed making cookies at home with the "Mia" family. They will share sleep, walk, cook, with their host families, visit museums, whale watch, explore the Great Ocean Rd and do anything else that comes up in their remaining time here. Ms Kato said she was nervous before she came to Australia.

ハミルトンの新聞に掲載されました



1本の木を彫って作られた芸術作品の前で



最後の夕食会
スターンさんのお孫さんと一緒に



ホストファミリーと一緒に



現地の幼稚園に訪問しました
みんなとても可愛かったです

「オーストラリアで過ごした日々」

西条 L C 336A-25

加藤早紀

8月3日、期待と不安を胸にオーストラリアに出発しました。

私が行ったホームステイ先は、ビクトリア州のグロックというところで、メルボルンから北西366キロの位置にあり、人口が200人という、農業中心の小さな田舎でした。郵便局は週一日しか開いておらず、しかも自分で取りに行くというのに驚きました。もちろん携帯も圏外でした。

メルボルン空港にジム・リチャードソンが迎えに来てくれていました。埼玉から来たYE生、佐藤麻莉衣さんがジムのお宅に、そして私は4軒となりのマックス・カーター、ローズマリー夫妻の家に滞在しました。

マックスは少し前に仕事を引退され、今はご夫婦で趣味を楽しまれています。

滞在中、二つの家を行き来していました。

向こうでの生活は、毎日ライオンズの違う人が迎えに来て、その人の家に行って、牧場を案内してもらい、一緒にご飯を食べることが多かったです。グロックの人は皆フレンドリーで、とても優しく接してくださいました。牧場や草原、湖は想像を絶するほど雄大で、星空はとてもきれいで感動しました。世界遺産であるナラコート哺乳類化石地域やオペラハウスを訪れることが出来たのも嬉しかったです。

今回、異文化での様々な出会いを通して、新しい事を目にし、経験し、学んだことは数えきれないほどあります。言葉の壁があり辛いこともありましたが、それらすべてが、決してお金には代えることの出来ない私の財産です。私はこのホストファミリー、そして麻莉衣さん、グロックの人たちに出会えて本当に良かったです。

ライオンズクラブの皆様や家族のおかげで、貴重な体験が出来、とても嬉しく、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



雄大な大地を実感



石で作られた
ジャイアントゴリラ



カーター夫妻とリチャードソン
ファミリーと茉莉衣さんと一緒に



YEミニキャンプにて



近所のスーパーで買い物
チョコレートの山積みワクワク



会員短 信

【 備えあれば憂いなし の巻き 】

花 山 志 郎



今年は随分暑かったですね。皆様はいかがでしょう。
さて、50周年も2年後に迫ってきましたが、いつも思うことがあります。
当クラブとして、やっていこうとするアクティビティと、キャビネットが力を入れる
アクティビティのタイミングが合わないときが多々ある様に思います。その為にも当クラブとして
事業費は出来る事ならある程度、プールしておく必要が有る様に思います。
例えば、おそらくCSF（視力ファースト キャンペーン）が10年先にはCSF となって、キャン
ペーンが来ると思います。キャンペーンはともかく金銭的な面は会員の皆さんに負担にならない様、
普段から事業費をプールしておく必要が有ると思います。（もちろん、CSF には限りませんが・・・）
そして、市民一般の方にも「盲人の為に暗闇と闘う騎士になってください」のテーマを根付かせること
により、ご理解していただけるのではないのでしょうか。例えば、チャリティーバザー・少年軟式野球大
会においての昼食作りのお世話など、西条ライオンズの事業資金獲得時には、市民一般の方に対する
一貫性のある西条ライオンズクラブのテーマを持っている必要性があります。今夏の暑さにのぼせ過ぎて
ふとその様な事を思いつきました。ちなみに僕は、10年後は72歳です。

“ 元気があればなんでもできる ”



ス
ポ
ー
ツ
回
好
会
だ
よ
り

8月30日（土曜日）
19:30～21:00
於～西条小体育館
.....

レクバレー練習がスタートしま
した。今年は2チーム参
加できるそうなので、我
こそは！と思わん方は
真面目に練習に参加し
てくださいね。

2 R 親善スポーツ大会ルール変更点

- ・ 6人制のレクバレー（2チーム参加可）
- ・ 20点3セットマッチ
- ・ 女性と66才以上男性は攻撃フリー
- ・ 男性の攻撃は足がついていればバックアタック
クイン前でも可能
- ・ ネットの高さは2m30cm



【編集後記】

『 暑さ寒さも彼岸まで 』とか。一雨ごとに秋の色が濃くなってきました。
今年は台風も思った程影響もなく農家の人たちも豊かな秋のみのりの訪れに心のなごむことだと思
います。当クラブでは、久しぶりのYE生派遣で活動再開、出席率も一段と向上、会員増強など、ます
ます元気な西条LCです。

PR・広報委員 越智英明

発行所 ライオンズクラブ国際協会 336A地区 2R4Z
西条ライオンズクラブ
事務局 〒793-0027
西条市朔日市 779-8
西条商工会館3F
TEL (0897) 56-3980
FAX (0897) 56-9251
E-mail saijo-lc@abeam.ocn.ne.jp

発行者 会 長 寺川治美
幹 事 盛實正人
PR・広報委員長 近藤基弘
編集委員 仁後真貴雄 ・ 越智英明
木下日出男 ・ 内田 伸
福島 譲 ・ 伊藤隆治
例会日 第1・第3火曜日
例会場 黒猫レストラン
印刷 西条ライオンズクラブ事務局